

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人 聖マリアンナ
理事長 明 石 邦 子

聖マリアンナ医科大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	72人
--------	-----

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	372人	3.8人	375.8人	看護業務補助	72人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	0人	0人	0人	理学療法士	19人	臨床検査技師	87人
薬剤師	48人	0人	48人	作業療法士	7人	衛生検査技師	0人
保健師	41人	0人	41人	視能訓練士	8人	その他	0人
助産師	19人	0人	19人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	815人	19.6人	834.6人	臨床工学技士	20人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	5人	0人	5人	栄養士	2人	その他の技術員	21人
歯科衛生士	0人	0人	0人	歯科技工士	0人	事務職員	124人
管理栄養士	9人	0人	9人	診療放射線技師	60人	その他の職員	7人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	
1日当たり平均入院患者数	896.87人	—人	896.87人
1日当たり平均外来患者数	2,337.08人	—人	2,337.08人
1日当たり平均調剤数		1,462剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の親血的移動術	有・無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・無	人
・溶血性貧血症の病因解析及び遺伝子解析診断法	有・無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・無	人
・人工中耳	有・無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・無	0人
・性腺機能不全の早期診断法	有・無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・無	人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・無	人
・抗がん剤感受性試験	有・無	14人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・無	人
・腹腔鏡下肝切除術	有・無	人
・画像支援ナビゲーション手術	有・無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・無	人
・成長障害のDNA診断	有・無	人
・生体部分肺移植術	有・無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・無	人
・悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・無	79人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・無	人
・骨髄細胞移植による血管新生療法	有・無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・無	人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・神経変性疾患のDNA診断	有・無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・無	人
・カフェイン併用化学療法	有・無	人
・31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・無	人
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

高度先進医療の種類(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用による齶蝕除去・スクレーピングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる膝靭帯再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯周組織再生誘導法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗がん剤感受性試験	<input checked="" type="radio"/> 有・無	14人
腹腔鏡下肝切除術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
超音波骨折治療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	283人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	27人
・多発性硬化症	146人	・ウェゲー肉芽腫症	37人
・重症筋無力症	154人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	22人
・全身性エリテマトーデス	1,751人	・多系統萎縮症	20人
・スモン	3人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	263人	・膿疱性乾癬	14人
・サルコイドーシス	167人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・筋萎縮性側索硬化症	38人	・原発性胆汁性肝硬変	385人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	577人	・重症急性膵炎	23人
・特発性血小板減少性紫斑病	146人	・特発性大腿骨頭壊死症	52人
・結節性動脈周囲炎	86人	・混合性結合組織病	179人
・潰瘍性大腸炎	302人	・原発性免疫不全症候群	3人
・大動脈炎症候群	37人	・特発性間質性肺炎	28人
・ピュルガー病	313人	・網膜色素変性症	76人
・天疱瘡	88人	・プリオン病	4人
・脊髄小脳変性症	134人	・原発性肺高血圧症	12人
・クローン病	73人	・神経線維腫症	10人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	8人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	81人	・バット・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	497人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	2人
・アミロイドーシス	202人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	0人
・後縦靭帯骨化症	82人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	4人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	病院CPC 4回、婦人科カンファレンス 6回、乳腺カンファレンス 5回、消化器カンファレンス 4回、骨軟部カンファレンス 3回、毎週月水金の3回/週 肉眼検討会(放射線)		
剖検の状況	剖検症例数	69例	剖検率 9.91%

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助又は委託元	
無細胞化凍結気管をScaffoldとする気管再生と再生過程のin vivo観察	長田 博昭	外科学(呼吸器外科)	500	補委	文部科学省
大腸癌の検診に利用しうる新規遺伝子スクリーニング法の開発	伊東 文生	内科学(消化器・肝臓内科)	3,900	補委	文部科学省
ヒト造精機能障害に関与する精細管基底膜内糖蛋白質の同定と機能解析	岩本 晃明	泌尿器科学	1,600	補委	文部科学省
卵巣癌に対するヒトモノクローナル抗体を用いた分子標的療法の確立	鈴木 直	産婦人科学	1,100	補委	文部科学省
モルモット聴皮質の可塑性	越智 健太郎	耳鼻咽喉科学	1,300	補委	文部科学省
再生医療技術を用いた皮膚再建に関する研究	熊谷 憲夫	形成外科学	1,500	補委	文部科学省
生活習慣病予防のための食事、運動指導の具体的効果の解明とその科学的根拠の確立	田中 逸	内科学(代謝・内分泌内科)	2,000	補委	文部科学省
気道狭窄におけるハイブリットステント留置の呼吸生理学的研究	宮澤 輝臣	内科学(呼吸器・感染症内科)	1,300	補委	文部科学省
メラノサイト及びメラノーマ細胞の分化におけるBMPとKITの役割と関係	川上 民裕	皮膚科学	2,400	補委	文部科学省
抗うつ薬奏功蛋白質の新規ケミカルプロテオミクス法を用いた探索と蛋白質クローニング	長田 賢一	神経精神科学	1,700	補委	文部科学省
2D-DIGEシステムを用いた新規乳癌関連遺伝子の同定と機能解析	福田 護	外科学(乳腺・内分泌外科)	1,800	補委	文部科学省
乳癌の抗癌剤感受性に影響を及ぼすDNA修復機構の解析	太田 智彦	外科学(乳腺・内分泌外科)	1,900	補委	文部科学省
EDDIによるAPC安定性制御機構における役割	大坪 毅人	外科学(消化器・一般外科)	1,800	補委	文部科学省
障害肝の外科的侵襲脆弱性に対する治療法の検討:プロテオミクスを用いたアプローチ	中野 浩	外科学(消化器・一般外科)	2,200	補委	文部科学省
分子シャペロンHspをtargetとした卵巣癌分子標的治療開発への試み	木口 一成	産婦人科学	1,800	補委	文部科学省

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印を付けた上で、補助元又は委託元を記入すること。

1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(千円)	補助又は委託元	
音像定位・体性感覚入力を利用しためまいリハビリテーション法の開発	肥塚 泉	耳鼻咽喉科学	3,200	補委	文部科学省
羊胎仔尿路閉塞に対する膀胱-羊水腔シャント効果とその治療メカニズムの解明	北川 博昭	外科学(小児外科)	1,900	補委	文部科学省
肺癌治療の標的となる染色体不安定性機構起因分子の解明	伊東 文生	内科学(消化器・肝臓内科)	3,300	補委	文部科学省
新規抗うつ薬結合蛋白質過剰発現マウスのストレス耐性とうつ病モデル動物の検討	朝倉 幹雄	神経精神科学	1,100	補委	文部科学省
川崎病罹患中の血小板由来一酸化窒素(NO)の血栓形成に対する関与の検討	麻生健太郎	小児科学	700	補委	文部科学省
強大音負荷による聴皮質および蝸牛神経におけるシングルユニット神経活動の変化	小宅 大輔	耳鼻咽喉科学	500	補委	文部科学省
遺伝性色素異常症と悪性黒色腫におけるチロシナーゼ関連蛋白の細胞内小胞輸送の解明	渡部 秀憲	皮膚科学	1,700	補委	文部科学省
PI 3-kinaseシグナル伝達の解明による膵臓癌発生メカニズムと治療法の究明	朝野 隆之	外科学(消化器・一般外科)	1,500	補委	文部科学省
組織特異的プロモーターを用いたホルモン抵抗性前立腺がんに対する遺伝子治療の検討	古畑 壮一	泌尿器科学	1,500	補委	文部科学省
膀胱癌の腫瘍マーカーの検索および遺伝子治療	佐々木秀郎	泌尿器科学	1,500	補委	文部科学省
真珠腫上皮の増殖のメカニズムとその抑制機構の解明	木内 庸雄	耳鼻咽喉科学	1,000	補委	文部科学省
2D-DIGEを用いた乳癌における抗癌剤感受性予測	宮本 圭子	外科学(乳腺・内分泌外科)	1,800	補委	文部科学省
ヒトモノクローナル抗体を用いた卵巣癌の腹膜播種に対する新たな分子標的治療の確立	平野 喜美恵	産婦人科学	2,200	補委	文部科学省
TNF- α による視神経障害の分子生物学的検討	北岡 康史	眼科学	1,700	補委	文部科学省
					計 29件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合は、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合は「委」に、○印を付けた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2. 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Gastroenterol	Epigenetics modulates the effect of chemotherapy on gastric cancer.	渡辺嘉行	内科学(消化器・肝臓内科)
Clin Nephrol	Successful treatment of hepatitis B virus-associated membranous nephropathy with lamivudine.	奥瀬千晃	内科学(消化器・肝臓内科)
Blood	Developmental regulation of yolk sac hematopoiesis by Kruppel-like factors 6.	松本伸行	内科学(消化器・肝臓内科)
World J Gastroenterol	Risk factors for retinopathy associated with interferon α -2b and ribavirin combination therapy in patients with chronic hepatitis C.	奥瀬千晃	内科学(消化器・肝臓内科)
Pathol Int	Hepatocellular carcinoma with silent and cirrhotic non-alcoholic steatohepatitis, accompanying ectopic liver tissue attached to gallbladder.	池田裕喜	内科学(消化器・肝臓内科)
World J Gastroenterol	Obstructive jaundice caused by secondary pancreatic tumor from malignant solitary fibrous tumor of pleuse : A case report.	山田典栄	内科学(消化器・肝臓内科)
J Gastroenterol	Molecular epidemiology of hepatitis A virus in metropolitan area in Japan.	高橋秀明	内科学(消化器・肝臓内科)
J Gastroenterol Hepatol	Safer endoscopic gastric mucosal resection: Preoperative proton pump inhibitor administration.	渡辺嘉行	内科学(消化器・肝臓内科)
J Gastroenterol	A case of deep venous thrombosis associated with pegylated interferon α 2b plus ribavirin treatment of chronic hepatitis C.	奥瀬千晃	内科学(消化器・肝臓内科)
生物物理化学	自然発症慢性膵炎モデルラット(雄性WBN/Kob)の網羅的遺伝子解析	伊東文生	内科学(消化器・肝臓内科)
日本消化器内視鏡学会雑誌	リンパ節転移陽性であった7mmの大腸sm癌の1例	野元雅仁	内科学(消化器・肝臓内科)
日本消化器内視鏡学会雑誌	拡大内視鏡診断が困難であった大腸隆起性病変の1例	大日方信幸	内科学(消化器・肝臓内科)
アルコールと医学生物学	Xenon CTを用いたアルコール性肝硬変の組織血流量の評価 非アルコール性脂肪肝炎性肝硬変とC型肝硬変との比較	高橋秀明	内科学(消化器・肝臓内科)
Mol Cell Biochem	Urinary liver-type fatty acid binding protein as a useful biomarker in chronic kidney disease.	Kamijo A, et al	内科学(腎臓・高血圧内科)
Am J Pathol	Liver-Type Fatty Acid-Binding Protein Attenuates Renal Injury Induced by Unilateral Ureteral Obstruction.	Kamijo-Ikemori A, et al	内科学(腎臓・高血圧内科)

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。